

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

誠実をモットーに技術力を高め、みがき棒鋼・冷間圧造用鋼線について顧客のあらゆるニーズに応えられるメーカーを目指す。

売上高経常利益率
2.5%

自己資本比率
52.6%

設備投資額
670,000千円

② 中長期の経営戦略

1. 販売数量のシェアアップ

みがき棒鋼・冷間圧造用鋼線の拡販、製品高付加価値化、三次加工分野への展開、同業他社との技術提携・協力

3. CSR・ガバナンス強化

ISO9001:2015、ISO14001:2015に基づく経営、内部統制・コンプライアンス体制強化、リスク管理徹底

2. 継続的設備投資

每期継続して効果的な設備投資を実施。生産性・品質向上をさらに推進

4. 連結経営の強化

グループ連携強化、経営資源有効活用、営業面での共同による新規需要家開拓

③ 対処すべき課題

① 経営環境の不確実性

- ・ウクライナ・中東情勢、労務費・諸物価上昇の懸念
- ・米国関税政策による自動車サプライチェーン影響
- ・主要需要先の自動車・建産機業界への厳しい影響

② 経営効率化・資源活用

- ・生産設備の効率的・最適な稼働
- ・グループ間・事業所間連携強化による資源有効活用
- ・連結収益の最大化追求

③ ガバナンス・コンプライアンス

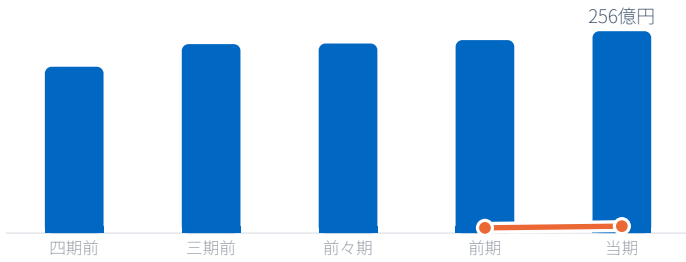
- ・内部統制・監査機能の充実
- ・全社ベースでのコンプライアンス意識徹底
- ・社内管理体制強化

面接で使えるポイント

- ・みがき棒鋼・冷間圧造用鋼線分野で顧客ニーズに応える製品開発力が強み
- ・2025年度に売上高経常利益率2.5%、自己資本比率52.6%を目指す収益重視の経営方針
- ・中国・タイの合併会社参加など海外戦略で自動車メーカーの生産シフトに対応

証券コード 5697

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに

鉄鋼業界に属する上場企業であり、主にみがき棒鋼と冷間圧造用鋼線の製造・加工・販売

主力事業・セグメント

・鉄鋼（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・－（判定に必要な数値が未開示）

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
256億円営業利益率
3.5%財務健康度
38点／100点

将来性 曇り／就活偏差値 43.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収
616万円
鉄鋼内 27位/38社平均年齢
40.2歳
鉄鋼内 29位/38社平均勤続
16.1年
鉄鋼内 29位/38社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: サンユウ[5697]: 剰余金の配当に関するお知らせ 2026

